

2022年3月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（口頭）	小島 肇, 足利太可雄
	演題名	in vitro免疫毒性試験の国際動向:New Approach Methodsに向けて
	学会名, 発表年月及び場所	第95 回日本薬理学会年会 (2022.3.7, 福岡)
2	発表者名（口頭）	田中利男 ^{1,2} , 小島 肇, 藤原道夫 ³ , 森華奈子 ³ , 森葵泉 ^{1,2} , 澤田莉乃 ^{1,2} , 山本恭子 ^{1,2} , 山田佳代子 ^{1,2} , 水谷有香 ^{1,2}
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 三重大学大学院医学系研究科システムズ薬理学 ² 三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター ³ アステラス製薬株式会社 研究本部 安全性研究所
	演題名	次世代ゼブラフィッシュ発生毒性スクリーニングシステムの研究開発
	学会名, 発表年月及び場所	第95 回日本薬理学会年会 (2022.3.7, 福岡)
3	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	THP-1細胞の活性化を指標にしたナノマテリアルの免疫毒性評価の試み
	学会名, 発表年月及び場所	日本薬学会第142年会(2022.3.26, Virtual)
4	発表者名（ポスター）	伊藤潤 ¹ , 安部賀央里 ¹ , 足利太可雄, 頭金正博 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野
	演題名	ヒト皮膚感作性データを用いた機械学習によるin silico予測モデルの開発
	学会名, 発表年月及び場所	日本薬学会第142年会(2022.3.27, Virtual)
5	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	化粧品の安全性評価試験法について
	学会名, 発表年月及び場所	日本薬学会第142年会(2022.3.28, Virtual)